



全国私立大学FD連携フォーラム 2012年度総会・パネルディスカッション 次第

日時：2012年6月16日(土) 13:30 ~ 17:10

会場：中央大学 後楽園キャンパス 3号館 10階 31008号室 (大会議室)

・2012年度総会 (13:30~14:30)

司会進行：長尾 憲治 明治大学理工学部専任教授、副教務部長

開会挨拶

会場校挨拶

松本 昭夫 中央大学FD推進委員会委員長、経済学部教授

代表幹事校挨拶

安岡 高志 立命館大学教育開発推進機構 教育開発支援センター 副センター長

1. 議事録確認：2011年度総会(2011年7月9日実施)議事録の確認

2. 2011年度活動報告および2012年度活動方針・計画

沖 裕貴 立命館大学教育開発推進機構 教育開発支援センター長

3. 2011年度決算

石坂 和幸 立命館大学 教学部次長

4. 2012年度予算(案)

5. JPF - FD データベースシステムについて

6. 2013年度以降の体制について

7. 規約の改正について

8. 幹事校の再任について

9. 新規入会校(2011年度総会以降)について(報告)

10. 2012年度に提供する実践的FDプログラムについて

林 泰子 立命館大学教育開発推進機構 講師

11. その他

閉会挨拶

(休憩 10分)

・パネルディスカッション (14:40~17:10)

テーマ：「大学の教学や運営への学生の主体的な参画

～中規模以上私立大学における取り組みの現状と課題～」

コーディネーター：沖 裕貴氏(立命館大学 教育開発推進機構 教育開発支援センター長)

パネリスト；

法政大学

・土屋 貴之氏(法政大学 学生センター 市ヶ谷学生生活課)

「KYOPROで実践するピア・サポート」

・川上 忠重氏(法政大学 教育開発支援機構 FD推進センター長)

「学生参画(学生FDスタッフ)について」

創価大学

・小林 光義氏(創価大学 総務課)

「学生参画の大学運営：全学協議会」

・関田 一彦氏(創価大学 教育学習活動支援センター長)

「学部を応援する学生組織：学部企画」

京都産業大学

・森 洋氏(京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室)

・中西 勝彦氏(京都産業大学 共通教育推進機構 職員)

「学生による学生・教員支援を通じた教育改善 - 『F工房』の取り組みを中心に - 」

龍谷大学

・長谷川 岳史(龍谷大学 大学教育開発センター長)

「龍谷大学における学生と協働する学修支援の現状」

総会終了後(17:30~) 懇親会(情報交換会) 会場：3号館9階 3907会議室

全国私立大学FD連携フォーラム 2012年度総会・パネルディスカッション申込者

2012年6月16日(土)

	大学名	所属・役職又は職種	氏名 (敬称略)	備考
1	関西大学	教育推進部教授 / 教育開発支援センター副センター長	山本 敏 幸	
2	"	授業支援グループ長	萩原 恒 夫	
3	関西学院大学	高等教育推進センター 次長	澤谷 敏 行	
4	慶應義塾大学	学生部 課長	篠田 一 輝	
5	"	学生部 課長	木村 朋 子	
6	中央大学	FD推進委員会委員長 経済学部教授	松本 昭 夫	
7	"	学事部 企画課 課長	鈴木 昇	
8	"	学事部 企画課	高橋 大 輔	
9	"	学事部 企画課	西 満 美	
10	同志社大学	教育開発センター事務室 教育企画係長	鹿野 博 志	
11	法政大学	教育開発支援機構FD推進センター長	川上 忠 重	
12	"	学生センター市ヶ谷学生生活課	土屋 貴 之	
13	"	学務部教育支援課 課長	平山 喜 雄	
14	"	学務部教育支援課FD担当 主任	堀江 一 乃	
15	"	学務部教育支援課FD担当 課員	細川 由 佳	
16	明治大学	理工学部専任教授(副教務部長)	長尾 憲 治	
17	"	教務事務部教務事務室	渡邊 周 人	
18	立教大学	大学教育開発・支援センター センター長 (理学部長)	家城 和 夫	
19	"	大学教育開発・支援センター 課長	今田 晶 子	
20	"	大学教育開発・支援センター	上原 裕 輔	
21	"	大学教育開発・支援センター	佐藤 百 恵	
22	立命館大学	教育開発推進機構教授	沖 裕 貴	
23	"	教育開発推進機構教授	安岡 高 志	
24	"	教育開発推進機構講師	林 泰 子	
25	"	教学部次長	石坂 和 幸	
26	"	教学部教育開発支援課長	佐々木 浩二	
27	"	教学部教育開発支援課長補佐	吉 岡 路	
28	"	教学部教育開発支援課	河合 昭 依	
29	早稲田大学	教務部FD推進センター センター長	本間 敬 之	
30	"	教務部FD推進センター 課長	小牧 慎 二	
31	"	教務部教育システム課	米内 達 也	
32	青山学院大学	相模原キャンパス 学務グループ 係長	蓬田 豊 子	
33	神奈川大学	教育支援センター副所長(学長補佐)	齊藤 隆 弘	
34	"	教育支援センター 課長	旭 馨	
35	北里大学	高等教育開発センター長	鈴木 牧 彦	
36	京都産業大学	教育支援研究開発センター 事務長	森 洋	
37	"	共通教育推進機構	中西 勝 彦	
38	國學院大學	教育開発推進機構准教授	中山 郁	
39	"	教育開発推進機構助教	小濱 歩	
40	国土館大学	FD委員会副委員長 (法学部教授)	加藤 直 隆	
41	芝浦工業大学	工学部 共通学群(数学)教授	榊原 暢 久	
42	"	工学部 共通学群(英語)准教授	ホートン広瀬恵美子	
43	"	システム理工学部 機械制御システム学科教授	伊藤 和 寿	
44	創価大学	教育学習活動支援センター長	関田 一 彦	
45	"	総務課	小林 光 義	
46	"	学事部・学士課程教育機構事務室課長・事務長	池ヶ谷 浩二郎	
47	"	学事部・学士課程教育機構事務室	山岸 啓 一	
48	"	教育・学習活動支援センター 助教	斉藤 幸 一	
49	"	教育・学習活動支援センター 助教	鈴木 夕 佳	
50	"	法学部 学部生	安齋 裕 希	パネルディスカッションのみ参加
51	"	法学部 学部生	狭間 健 人	
52	"	文学部 学部生	蚊野 英 之	

53	中部大学	大学教育研究センター 副センター長	杉井 俊夫	
54	"	大学教育研究センター 副センター長	寺澤 朝子	
55	"	大学教育研究センター 次長	西川 鉦治	
56	帝京大学	高等教育開発センターセンター長・教授	土持ケ-リ-法一	
57	"	高等教育開発センター准教授	井上 史子	
58	"	高等教育開発センター	長谷川 育代	
59	東京農業大学	学生サービスセンター 事務局次長	片桐 誠久	
60	"	学生サービスセンター学習支援課 課長補佐	山形 一	
61	東北学院大学	法学部 教授 学務担当副学長	斎藤 誠	
62	龍谷大学	大学教育開発センター センター長	長谷川 岳史	
63	"	教学企画部 課長	河村 由紀彦	
64	愛知大学	教学担当副学長	砂山 幸雄	
65	"	名古屋教務課学事係長	二木 利之	
66	愛知学院大学	教務部教務課課長補佐	早川 実良	
67	九州産業大学	大学改革推進本部大学評価室係長	藤川 昌幸	
68	専修大学	経営学部 准教授	宇佐美 嘉弘	
69	"	教務部教務課課長	脇 英太郎	
70	"	教務部教務課課長補佐	佐藤 孝博	
71	"	学長室企画課主任	二宮 進語	
72	日本大学	本部学務部教育推進課	山岸 和也	
73	明星大学	教務企画課 課長	岸部 亨	
74	"	教務企画課	鎌田 雅子	
75	"	教務企画課	成松 壮太	

1～63までJPF加盟校

全国私立大学 FD 連携フォーラム 2011 年度総会 議事録

日 時： 2011 年 7 月 9 日（土）14：00～17：00

会 場： 立命館大学 朱雀キャンパス 1 階 多目的ホール

出席大学：（加盟大学）

神奈川大学、関西大学、関西学院大学、北里大学、京都産業大学、甲南大学、
國學院大学、国士舘大学、芝浦工業大学、創価大学、中央大学、帝京大学、
東京農業大学、同志社大学、法政大学、立教大学、立命館大学、龍谷大学、
早稲田大学 （全 24 大学中 19 大学）

（非加盟大学）

愛知学院大学、大手前大学、玉川大学、東北大学、玉川大学、阪南大学、福
岡大学 （7 大学） パネルディスカッションのみの出席も含む

議事録の確認

（2010 年度総会（2010 年 6 月 12 日実施）、臨時総会（2010 年 10 月 8 日実施））
承認。

2011 年度総会

1．開会挨拶

司会者である久保田 哲夫 関西学院大学 高等教育推進センター長より開会の挨拶があった。

2．会場校挨拶

石井 秀則 立命館大学 教学部長より会場校挨拶があった。

3．代表幹事校挨拶

安岡 高志 立命館大学 教育開発推進機構 教育開発支援センター長より代表幹事校挨拶があ
った。

4．2010 年度事業報告、2011 年度事業計画について

代表幹事校より、「2010 年度事業報告」および「2011 年度事業計画」（別紙添付省略）にも
とづき、2010 年度事業報告および 2011 年度事業計画について説明があった。

2010 年度事業報告では、活動の概要に加えて 4 大学（國學院大学、創価大学、北里大学、
帝京大学）の新規加盟があった旨報告があった。

2011 年度事業計画では、文部科学省の事業採択期間終了を受け、2011 年度より年会費に
よる運営を開始するため、これまでの活動の成果をより一層広く社会に発信すること、そし
て引き続き加盟校の拡大をはかることに努めることとし、具体的な方針としては、加盟校
の連携・協力の強化、情報発信、情報共有の強化、ネットワークの拡大、立命館大学
「実践的 FD プログラム」の活用 の 4 点を方針とする旨提案があり、これを承認。

5．2011 年度予算について

代表幹事校より、「2011 年度予算（案）」（別紙添付省略）にもとづき、年会費による収入（24
大学×5 万円）による 2011 年度予算について提案があり、これを承認。

6．フォーラム企画等における講師依頼について（申し合わせ）（報告）

代表幹事校より、「フォーラム企画等における講師依頼について(申し合わせ)」(別紙添付省略)にもとづき、本フォーラム企画における講師派遣時の交通費および謝礼について提案があった。交通費については、加盟校から講師を招く場合はフォーラムの予算から支給し、加盟校所属教職員が講師を担う場合は基本的にはフォーラム予算から支給しないこととする旨報告があった。また、謝礼については、加盟校所属教職員であっても、当該大学でFD推進を主たる職務としない場合等講師の職務と異なる依頼内容等の場合は、派遣大学との確認により、個別事務局(代表幹事校)が判断し、直近の幹事会での報告をもって支払うこととする旨報告があり、これを確認。

7. 幹事校および代表幹事校の再任について

代表幹事校より、「幹事校および代表幹事校の再任について」(別紙添付省略)にもとづき、関西大学、法政大学、早稲田大学、立教大学、立命館大学の5大学について幹事校を再任し、立命館大学については代表幹事校を再任することについて提案があり、これを承認。

8. 監査役の任命について

代表幹事校より、「監査役の任命について」(別紙添付省略)にもとづき、青山学院大学および関西大学の2校を監査役とする旨提案があり、これを承認。なお、任期は2年間(2011年度および2012年度)とする。

9. 新規入会校(2010年度総会以降)について

代表幹事校より、「新規入会校(2010年度総会以降)について」(別紙添付省略)にもとづき、2010年総会以降、帝京大学および龍谷大学の2大学が新規入会した旨、報告があった。あわせて、新規に入会した2大学よりそれぞれ自己紹介とコメントがあった。

10. 関東圏懇談会について(口頭報告)

川上 忠重 法政大学 教育開発支援機構FD推進センター長より、2011年6月15日に実施した関東圏懇談会について口頭で報告があった。懇談会では、「関東圏の私立大学におけるFDに関する共通理解とは」というテーマのもと、約90分程度フリーディスカッションを行った。参加した大学から多く関心の寄せられたテーマについて、各大学の実態と事例の共有を行った。率直な意見交換ができ、有意義な場であったとの報告があった。

11. 2011年度に提供する実践的FDプログラムについて

林 泰子 立命館大学 教育開発推進機構講師より、「2011年度に提供する実践的FDプログラムについて」(別紙添付省略)にもとづき、報告があった。まず2011年度のオンデマンド講義の申込状況の報告および利用方法の紹介があり、続いて2011年度のワークショップ開催スケジュールについて紹介があった。

12. 閉会挨拶

久保田 哲夫 関西学院大学高等教育推進センター長より閉会の挨拶があり、以上をもって2011年度総会を終了した。

以上

2011年度活動報告および2012年度活動方針・計画

1. 2011年度 活動報告

(1) 総会、幹事会、各種ミーティング、企画等

総会およびパネルディスカッション

・2011年度 総会およびパネルディスカッション

日 時： 2011年7月9日(土) 14:00~17:00

場 所： 立命館大学 朱雀キャンパス1階 多目的ホール

参加者数： 70名

幹事会

・2011年度 第1回 幹事会

日 時： 2011年7月9日(土) 13:00~14:00

場 所： 立命館大学 朱雀キャンパス 地下1階 会議室

参加大学： 関西大学・関西学院大学・中央大学・同志社大学・法政大学・立教大学・立命館大学・早稲田大学 (計8大学) (*50音順、以下同様)

幹事校ミーティング、会員校ミーティング

・2011年度 第1回幹事校ミーティング

日 時： 2011年6月10日(金) 16:00~17:30

会 場： 立命館大学 東京キャンパス/衣笠キャンパス

参加大学： 関西大学・関西学院大学・中央大学・同志社大学・法政大学・立教大学・立命館大学・早稲田大学 (計8大学)

・2011年度 第2回幹事校ミーティング

日 時： 2011年10月21日(金) 15:00~16:30

会 場： 立命館大学 東京キャンパス/衣笠キャンパス

参加大学： 関西大学・関西学院大学・慶應義塾大学・中央大学・同志社大学・法政大学・明治大学・立教大学・立命館大学・早稲田大学 (計10大学)

・2011年度 会員校ミーティング

日 時： 2011年12月1日(木) 14:00~15:00

会 場： 立命館大学 東京キャンパス/衣笠キャンパス

参加大学： 青山学院大学・神奈川大学・関西大学・関西学院大学・北里大学・京都産業大学・慶應義塾大学・甲南大学・國學院大學・国士舘大学・芝浦工業大学・創価大学・中央大学・帝京大学・東京農業大学・同志社大学・法政大学・明治大学・名城大学・立教大学・立命館大学・龍谷大学・早稲田大学 (計23大学)

・2011年度 第3回幹事校ミーティング

日 時： 2012年3月19日(月) 16:00~17:30

会 場： 立命館大学 東京キャンパス/衣笠キャンパス

参加大学： 関西大学・慶應義塾大学・中央大学・法政大学・立教大学・立命館大学・早稲田大学 (計7大学)

その他企画

・関東圏懇談会

日 時： 2011年6月15日(水) 15:30~17:00

場 所： 法政大学 市ヶ谷キャンパス ポアソナード・タワー26階 A会議室

参加大学： 青山学院大学・神奈川大学・北里大学・國學院大學・国士舘大学・芝浦工業大学・創価大学・中央大学・帝京大学・法政大学・立命館大学・早稲田大学
(計12大学)

参加者数： 30名

概 要： 「関東圏の私立大学におけるFDに関する共通理解とは」というテーマのもと、フリーディスカッションを行った。参加大学の現状と課題を共有し、共通する課題(授業アンケート、教員評価)について、取り組み実態と具体的事例の情報共有と意見交換を行った。

・2011年度 懇談会企画

日 時： 2011年12月1日(木) 15:15~17:30

会 場： 立命館大学 東京キャンパス/衣笠キャンパス

参加大学： 青山学院大学・神奈川大学・関西大学・関西学院大学・北里大学・京都産業大学・慶應義塾大学・甲南大学・國學院大學・国士舘大学・芝浦工業大学・帝京大学・東京農業大学・同志社大学・法政大学・明治大学・名城大学・立命館大学・龍谷大学・早稲田大学 (計20大学)

参加者数： 26名

概 要： 関東、関西各会場で以下のテーマ毎にグループ懇談を行った後、テレビ会議システムを利用した懇談のまとめを行った。

・関東テーマ：A)授業アンケート、B)初年次教育

・関西テーマ：A)授業アンケート、B)大学院FD、C)ピア・エデュケーション
グループ懇談では、共通する課題の確認やその対応策について具体的な事例を交えて情報共有を行った。懇談のまとめでは、各グループの懇談内容を共有するなかで、いくつか重要な課題提起もあり、今後のフォーラムの活動へつながるものとなった。

(2) 広報活動

ホームページ (<http://www.fd-forum.org/fd-forum/>)

・会員校で開催される企画の広報

・発行物の掲載

ニュースレター「全国私立大学連携フォーラム News Letter No.3」発行(2012年3月)

(3) 2011年度 新規加盟校

・2011年6月 龍谷大学

(2011年度総会で帝京大学(2010年7月加盟)とともに紹介)

(4) 「実践的FDプログラム」

・オンデマンド講義の更新：2講義

「心理学」発達障害のある学生の学び - アスペルガー症候群を中心に -

「大学管理運営」リスクマネジメント - 大学教員のためのキャンパスハラスメント -

・ワークショップの公開：10講座 (いずれも立命館大学で実施)

2 . 2012 年度 活動方針

2008 年 12 月に 10 大学から開始した全国私立大学 FD 連携フォーラム(以下、フォーラム)も、2012 年度 6 月時点で会員校 25 大学となり、毎年拡大を続けている。また、文部科学省事業採択期間を終了し、2011 年度より会員校の年会費による運営を開始した。フォーラムの活動としては、総会・パネルディスカッションの開催、幹事会や幹事校ミーティング、会員校ミーティングに加え、センター長懇談会、地域懇談会などの企画を開催してきた。

2012 年度については、引き続き各種企画の実施や情報共有を行い、一層の情報共有の強化に努める。2012 年度は FD データベースシステムの導入も予定していることから、本システムを活用することでスムーズな情報共有をはかる。また、2012 年度は、2013 年度以降の安定した運営体制の確立に向けて最終的な調整を行うとともに、今後のフォーラムの活動のありかたについて会員校全体で改めて共有し、共通認識を深めたい。

また、フォーラムで開発を行い、現在立命館大学で開発運営を継続している「実践的 FD プログラム」についても、会員校でのより一層の活用促進をはかりたい。

2012 年度は、以下を主な方針とする。

- (1) 2013 年度以降の運営方針および体制の決定
- (2) 会員校の連携および情報共有の強化(企画による場の提供やシステムの導入など)
- (3) 新規加盟の促進
- (4) 「実践的 FD プログラム」の活用促進

3 . 2012 年度 活動計画概要

- (1) 2013 年度以降の運営方針および体制の決定

幹事校ミーティング、会員校ミーティングを開催し、具体的な体制を決定する。

- (2) 会員校の連携および情報共有の強化(企画による場の提供やシステムの導入など)

定例の会議(総会、幹事会)および各種ミーティング(幹事校ミーティング、会員校ミーティング)を実施する。

地域別企画、分野別企画やセンター長ミーティングや事務局ミーティングなどのグループ別企画を検討する。開催にあたっては、会員校の参加のしやすさを考え、地域毎の活動を中心に検討する。

FD データベースシステムを導入することにより、会員校の FD 取組み状況などの情報共有を推進する。

FD データベースシステムを活用し、総会やミーティング資料などのフォーラム関連資料を蓄積・共有する。

(3) 新規加盟の促進

新規に 3 大学程度の加盟を目指す。特に、新たな地域での連携（例：九州地域など）への働きかけを強化し、連携の展開を目指す。

(4) 立命館大学「実践的 FD プログラム」の活用促進

オンデマンド講義

- ・ニーズも踏まえ、集合研修などで活用可能な「集合研修用 ID」を新たに設定し、会員校へ配布し、より一層の活用を目指す。なお、非会員校に対しては、有償で提供する。
- ・会員校の登録アカウント数については、従来どおり申し込み数の上限を設けず、広く活用可能なものとする。
- ・通常の ID の申請状況や実際の活用状況、「集合研修用 ID」の活用状況を調査し、活用事例を共有する。

ワークショップについて

- ・新規開発ワークショップも含め、従来どおり立命館大学で実施するワークショップを公開する。また、ワークショップに参加いただき、その後自校で活用いただくために、ノウハウや必要な資料などを提供する。

年間スケジュール（予定）

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 6 月 | ・ 幹事会、総会、総会企画（パネルディスカッション）の開催 |
| 7～9 月 | ・ 幹事校ミーティング |
| 10 月 | ・ 会員校ミーティング、懇談会企画 |
| 3 月 | ・ 幹事校ミーティング |

その他、地域別、分野別など各種懇談会の開催（日程未定）

以上

全国私立大学FD連携フォーラム 2011年度 決算

(2011年度決算期間:2011年4月1日～2012年3月31日)

< 収入の部 >

単位:円

区分	2011年度 予算額	決算額	備考
年会費	1,200,000	1,200,000	24大学
その他 - 特別会計	0	3,500	懇親会費差額分(当日追加参加者分)
合計	1,200,000	1,203,500	

< 支出の部 >

単位:円

区分	2011年度 予算額	決算額	備考
総会関係経費	300,000	200,869	
内訳			
事業推進費		89,736	看板、花、設営費、昼食・飲料代等
旅費		77,800	講師交通費 1名
その他		33,333	講師謝礼 1名
通信費	30,000	8,240	郵送料
委託費	200,000	82,950	ホームページ運営費、更新費
印刷費	300,000	246,750	ニュースレター発行費
ミーティング、各種懇談会関係経費	300,000	7,420	12/1 会員校ミーティング・懇談会 3/19 幹事校ミーティング 会議費
内訳			
会議関係費		7,420	お茶代
旅費		0	
予備費	70,000		
小計	1,200,000	546,229	
積立金		400,000	データベース開発用
次年度繰越金		257,271	
合計	1,200,000	1,203,500	

< 特別会計 >


区分	収支	
総会 懇親会収入	140,000	
総会 懇親会支出	136,500	
合計	3,500	*収入「その他-特別会計」

全国私立大学 FD 連携フォーラム 2011 年度 監査報告


全国私立大学 FD 連携フォーラムの 2011 年度（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）の決算関係証憑類は適正に処理されており、正確であることを認め、ここに報告します。

監査委員

青山学院大学 FD 推進委員会委員長

長谷川 信 

関西大学 教育開発支援センター長

田中 俊也 

全国私立大学FD連携フォーラム 2012年度予算(案)

(2012年度決算期間: 2012年4月1日 ~ 2013年3月31日)

< 収入の部 >

単位: 円

区分	予算額	備考
年会費	1,250,000	25大学
積立金	400,000	FDデータベースシステム開発用
前年度繰越金	257,271	
合 計	1,907,271	

< 支出の部 >

単位: 円

区分	予算額	備考
総会関係経費	260,000	
内訳		
事業推進費	200,000	看板、花、設営費、昼食*1・飲料 パネリスト懇親会費補助*2等
旅費	60,000	代表幹事校要員交通費(2名)*3
通信費	30,000	郵送料
委託費	1,000,000	
内訳		
JPFHホームページ関連	150,000	維持管理費・更新費
FDデータベースシステム関連	850,000	システム構築費・保守費用 内 400,000円は前年度積立金
印刷費	300,000	ニュースレター発行費
ミーティング、各種懇談会関係経費	200,000	
内訳		
会議関係費	20,000	お茶代
旅費	180,000	代表幹事校要員交通費 *2 (各種ミーティング・企画 計3回) ×2名
予備費	117,271	
合 計	1,907,271	

[補足]

*1: 昼食

幹事会出席者、パネル打合せ出席者、要員分

*2: パネリスト懇親会費補助

2012年度: 4,000円×8名分 見込み

*3: 代表幹事校 要員旅費

1回分(関西~関東移動)を 30,000円 で計算

2011年10月21日 幹事校ミーティング
2011年12月1日 会員校ミーティング
2012年3月19日 幹事校ミーティング
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

JPFF - FD データベースシステムについて

1. 目的

フォーラム加盟校間のFD関連情報を一元化して共有することにより、教学実践の検討や改善の際に重要となるさまざまな情報を効率良く効果的に得ることができる。これにより、各大学におけるFD活動の活性化につなげるとともに、同規模大学における私立大学が共通して抱える課題を解決・改善する際の一助とする。

2. 活用例

- ・各大学で新たな教学改革等を検討する際の、他大学調査等に活用する。
- ・共同で行う取組み（企画、イベント）を模索する。
- ・JPFF 企画のテーマ設定や議論の素材とする。
（具体的な企画を行う際は、情報共有システムの情報を参考に詳細のアンケート調査を行う。）
- ・各大学におけるFD活性化の一助とする。

3. 概要

(1) 管理・運用方法

- ・JPFF のホームページ内に設置し、加盟大学にIDを発行し、閲覧を限定する。
- ・各大学に「編集用ID」と「閲覧用ID」を1つずつ発行し、各大学担当者がそれぞれ更新できる方式とし、定期的にデータ更新を行う（年2回程度は各大学へデータメンテナンスを依頼）。
- ・情報掲載の際は、データを掲載せずにデータ掲載ページのURLを掲載する。

(2) システム概要 （資料：項目一覧、資料：画面イメージ（サンプル）参照） FD情報の共有

- ・登録した情報から全文検索を行う。
- ・取組名（項目名）その取組の「有無」、フリーワード（任意）を指定し、検索を行う。
なお、検索対象となる「取組」は、項目の「教学実践」の部分とする。
- ・更新履歴を表示する。
JPFF 関連資料の共有
- ・総会資料（過年度分を含む）や各種申請書類などを共有（画面サンプル「関連資料」）

(3) 予算

システム構築費用：700,000～800,000円

2011年度予算より400,000円を積み立て、2012年度予算で残額（300,000～400,000円＋保守費用（以下））を充て、2012年度より運営開始。

保守契約費用

スポット保守：約50,000円（画面項目名称の変更・2回/年）

いずれもシステム改修費は含まれない。

4. スケジュール（案）

- ・～5月末 幹事校 情報入力（試行）
- ・6月中旬 総会にて承認
- ・7月中下旬 システム完成 会員校 情報登録開始
- ・～8月末 会員校 情報登録終了
- ・9月～ 利用開始（以降、順次更新） （以降、一斉情報更新は、半年毎を想定）

【資料】項目一覧

(入職例:立命館 -内容は仮)

基本情報	項目名	大学情報	コメント	関連HP、連絡先	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 大学 基本データ	学部数	13			
	研究科数	15			
	学生数		2011年5月1日現在	http://www.ritsumeijp/public-info/public00_1stmitgakusei	
	院生数		2011年5月1日現在		
	教員数		2011年5月1日現在		
	職員数		2011年5月1日現在		
	キャンパス数	3(衣笠、朱雀、びわこくさつ)	2015年4月大阪茨城キャンパス開設予定		
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 FD 基本データ	FD担当組織	教育開発推進機構	機構のもとに 教育開発支援センター、 接続教育支援センターを設置	http://www.ritsumeijp/acd/acd/ac/rit/	
	FD担当事務局	教育学部 教育開発支援課			
	組織の長	教育学部長	2012年度～		
	FD組織所属教員数(計)	13			
	・専任	12	(任期制を含む)		
	・兼任(学部所属等)	1			
	職員数	専任9名・その他 名			
	機関紙			バックナンバーHP公開中	http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/online/publication.html
	紀要			バックナンバーHP公開中	http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/online/publication.html
	組織の研究実績情報				
	所属するFD団体	JPF、関西地区FD連携フォーラム、近畿地区大学教育研究会、大学コンソーシアム京都			
	その他 他大学との連携(FD関連)	山形大学との連携協定			
	予備				

教育情報	項目名	取組みの有無/形態、対象、取組み例	担当	コメント	関連HP、連絡先
23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	3ポリシー		教育開発支援センター		
	授業(評価)アンケート	紙	教育開発支援センター		http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/teacher/teacher_evaluation.html
	教学IR	学生実態調査	教育開発支援センター		http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/ir/ir/index.html
	シラバス	オンライン	教育開発支援センター		http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/it/it/index.html
	教員研修	新任教員対象	教育開発支援センター	実践的FDプログラムを活用し、2009年度より導入	
	高大接続	...	接続教育支援センター		
	入学前教育	...	接続教育支援センター		
	初年次教育	...	接続教育支援センター		
	ライティング・サポート	...	接続教育支援センター		
	学生スタッフ(正課授業支援)	TA(ティーチングアシスタント)、ES(教育サポーター)	教育開発支援センター	ES制度:2004～導入	http://www.ritsumeijp/acd/ac/rit/student/student_es.html
	学生スタッフ(正課授業支援以外)	FDスタッフ、レインボースタッフ、オリター、ライブラリスト	教育開発支援センター		
	ICTによる教育支援	Webコースツール、QRコード(出欠管理)、クリッカー等機器貸出	教育開発支援センター		
	教材作成支援				
	学修サポート	物理駆け込み寺...	理工学部		
	大学院FD	...	博士キャリアパス推進室(教育学部 大学院課)		http://www.ritsumeijp/ru_gr/q-career/
	ラーニング・commons	びあら(ピア・ラーニング・ルーム)	図書館 教育開発支援センター	2010開設	http://www.ritsumeijp/acd/mr/lib/plr/index.html
	ポートフォリオシステム	検討中			
	教員評価	...			
	SD	...			
	インターンシップ	...	インターンシップオフィス(教育学部 共通教育課)		
ボランティア	...	ボランティアセンター(教育学部 共通教育課)			
学習障がい対応	...	学生部 共通教育課・障害学習支援室			
予備					
予備					
予備					
予備					
49 50 GP、 連携事業	GPの取組	[H20年度採択] ・[大学院GP]海外大学共同による比較社会調査研究型教育 ・[大学院GP]国際協力の即戦力となる人材育成プログラム ・[大学院GP]地域共創プロデューサー育成プログラム			http://www.ritsumeijp/mna/gd/koho/gp/index.htm
	その他連携事業				

その他	項目名	取組みの有無/形態、対象、取組み例(フリー入力)	担当	コメント	関連HP、連絡先
51 52 53	重点的 実践事例			
	重点的 取り組み課題			
	その他				

項目名変更、追加はシステム修正対象となる

【資料】画面イメージ(サンプル)

1. 検索・閲覧

(1) トップページ・検索画面(ログイン後)

全文検索 検索結果画面は(3)

条件を指定して検索 (- A 検索結果 をクリック) 各大学のページ(2)

入力したデータに対する全文検索

条件を指定した検索(最大3つまで)

更新履歴
2012.3.7 A大学更新
2012.4.2 B大学更新
.....
.....

更新履歴を表示(表示場所は仮)

- A の検索結果が表示される

大学名	学部数	研究科教
立命館大学	13	1

(2) 検索結果画面 = 各大学のページ(例:立命館大学)

立命館大学

基本情報

			コメント	関連HP、連絡先
大学基本データ	学部数	13		
	研究科教	1		
FD基本データ	キャンパス数	3(衣笠、津家、滋賀)		
	FD担当組織の有無	有		
	-名科(機関)	教育開発推進機構		
	-名科(部門)-事務局	教育学部 教育開発推進機構		
	組織の長	総長		
	FD組織所属教員数(計)	...		
	専任 兼任(学部所属教員等)	0		

(3) 全文検索結果 画面



2. 編集

- ・編集用 ID でログインし、自大学の箇所（行）の編集・更新を行う
- ・「最終更新者」、「最終更新日」の確認が可能（自動表示）
- ・エクセル形式でダウンロード可能

トップ画面



一覧シート イメージ (エクセル形式)
(項目は一部を抜粋)

編集用 ID : 閲覧編集・更新およびダウンロードが可能
閲覧用 ID : 閲覧およびダウンロードのみ可能

大学名	学部数			キャンパス数			授業アンケート、授業調査				教員研修			
	学部数	コメント	関連HP 連絡先	キャンパス 数	コメント	関連HP 連絡先	有の場合 形態、対象、例	担当	コメント	関連HP 連絡先	有の場合 形態、対象、例	担当	コメント	関連HP 連絡先
立命館大学	13		http://www.ritsumei.jp/profile/a10_2011.html	3 (衣笠、朱雀、滋賀)	2015年4月大阪茨城キャンパス開設予定		紙・年2回(前期・後期)実施	教育学部 教育開発支援課		http://www.ritsumei.ac.jp/ac/d/ac/it/teacher/teacher_investigation.html	新任教育対象	教育学部 教育開発支援課	実践的FDプログラムを活用	
A大学デモ	3			5										
B大学デモ														

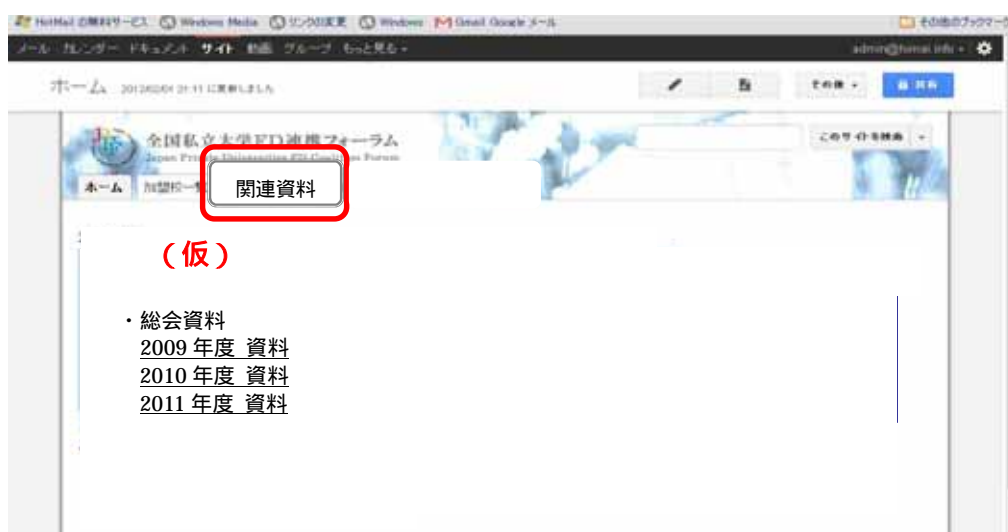


重点的 実践事例				重点的 取り組み課題				その他 1				最終更新者	最終更新日	
有の場合 形態、対象、例	担当	コメント	関連HP 連絡先	有の場合 形態、対象、例	担当	コメント	関連HP 連絡先	有の場合 形態、対象、例	担当	コメント	関連HP 連絡先			
...				...										2/2/2012 14:49:32
													**	2/3/2012 12:00:51

自大学の箇所を更新後、検索画面と同期させることで公開する
取り組み事例については、「有の場合 形態、対象、例」のセルに入力されている場合は「有り」、何も入力されていない場合は「無し」と(システム上)判定する
複数大学が同時に編集することが可能

3 . 関連資料

総会資料 (過年度分を含む) や各種申請書類などを共有



2011年10月21日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事校ミーティング
2011年12月1日 全国私立大学FD連携フォーラム会員校ミーティング
2012年3月19日 幹事校ミーティング
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

2013年度以降の体制について（案）

1. 幹事校、代表幹事校のあり方について

- ・現在の幹事校（任期制）10校を任期の定めのない「幹事校」とする。
- ・10校に加え、会員校より2校を選出し、計12幹事校にて運営する。
- ・「幹事校」を東日本地域、西日本地域のグループに分け、それぞれから「地域担当幹事校」（東日本担当、西日本担当）を1校ずつ選出する。
- ・「地域担当幹事校」2校のうち、1校を「代表幹事校」とする。「代表幹事校」は東日本、西日本地域から交互に選出する。
- ・幹事校の中から「事務局校」1校を選出し、従来代表幹事校が担ってきた事務的な役割を担うこととする。
- ・総会会場は、原則として代表幹事校とするが、地域内で調整することも可能とする。

2. 役割について

(1) 「幹事校」

- ・選出・任期；
現 幹事校10校を任期の定めのない「幹事校」とする。
全「会員校」から2校選出する。任期は2年とする（ただし、再任を妨げない）。
- ・主な役割：幹事会、幹事校ミーティングへの参加・参画

(2) 「地域担当幹事校」（東日本担当、西日本担当）

- ・選出：「幹事校」より、東日本地域、西日本地域それぞれから1校を選出する。
なお、「地域担当幹事校」のうち、1校は「代表幹事校」となる。
- ・任期：2年（ただし、再任を妨げない）
- ・主な役割：地域別企画（地域別懇談会等）の実施

(3) 「代表幹事校」

- ・選出：「地域担当幹事校」2校から1校を選出する。「東日本担当幹事校」、「西日本担当幹事校」より交互に選出する。
- ・任期：2年
- ・主な役割：総会・企画、幹事会、各種ミーティングの実施

(4) 「事務局校」

- ・選出：幹事校の中から1校を選出する。当面は立命館大学が担う。
- ・任期：2年（ただし、再任を妨げない）
- ・主な役割：予算（年会費）管理、広報、情報発信・共有（ニュースレターの発行、ホームページの管理）、メーリングリストの管理等

以上

2012年3月19日 幹事校ミーティング
 2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会
 2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

「全国私立大学FD連携フォーラム」規約の改正について

2013年度以降の運営体制の変更に伴い、以下のとおり「全国私立大学FD連携フォーラム」規約の改正を行う。(第3章 組織のみ抜粋)

現行	改正案
<p style="text-align: center;">第3章 組織</p> <p>(総会) 第6条 本フォーラムは、原則として毎年1回総会を開催する。 2 総会は、全会員校をもって構成する。 3 各会員校は、当該会員校を代表して総会に出席する者1名をあらかじめ登録しなければならない。ただし、会員校に所属する他の者が、あらかじめ登録した者を代理し、または総会に陪席することを妨げない。 4 総会は、次の事項を審議する。 会費に関すること 年度ごとの活動方針、活動報告に関すること(予算、決算報告を含む) 代表幹事校、幹事校および監査役の選出に関すること 規約の改正に関すること その他重要な事項 5 前項に定めるもののほか、総会の議事の運営に関し必要な事項は、総会で定める。 6 総会は、会員校の半数以上が出席しなければ、開会することができない。 7 総会の議事は、出席の会員校の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長校が決する。</p> <p>(代表幹事校および幹事校) 第7条 本フォーラムに、幹事校 <u>10</u>校を置き、そのうち <u>1</u>校を代表幹事校とする。 2 幹事校は、会員校の中から選出し、総会で承認する。 3 代表幹事校は、<u>第8条第3項第1号による幹事会の推薦に基づき、総会での承認を得て、選出される。</u> 4 代表幹事校は、総会および幹事会を招集し、議長校となる。</p> <p>(幹事会) 第8条 本フォーラムに幹事会を置き、<u>代表幹事校および全幹事校</u>で構成する。 2 代表幹事校および幹事校の任期は2年とする。ただし、</p>	<p style="text-align: center;">第3章 組織</p> <p>第6条(現行どおり)</p> <p>(代表幹事校、地域担当幹事校、事務局校、幹事校) 第7条 本フォーラムに幹事校 <u>12</u>校を置き、そのうち <u>2</u>校を地域担当幹事校とし、<u>そのいずれかを代表幹事校とする。</u> 2 幹事校は、<u>会員校の中から任期の定めのない幹事校10校と任期の定めのある幹事校2校</u>を選出し、総会で承認する。 3 <u>地域担当幹事校は、幹事校の中から東日本地域、西日本地域担当を1校ずつ選出し、総会で承認する。</u> 4 <u>事務局校は、幹事校から選出し、総会で承認する。</u> 5 <u>代表幹事校は、地域担当幹事校より東日本、西日本交互に選出し、総会で承認する。</u> 6 代表幹事校は、総会および幹事会を招集し、議長校となる。</p> <p>(幹事会) 第8条 本フォーラムに幹事会を置き、<u>全幹事校</u>で構成する。 2 <u>代表幹事校、地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校および事務局校</u>の任期は2年とする。ただし、<u>地域</u></p>

いずれも再任を妨げない。

- 3 幹事会は、次の事項を審議する。
代表幹事校の推薦に関する事
本フォーラムの活動に係る企画立案に関する事
本フォーラムへの入会および退会に関する事
総会の議案に関する事
本フォーラムの運営に関する事
その他重要な事項であって、緊急に決定を要すること
- 4 幹事会が前項第 6 号の規定による決定をした場合には、総会その他の方法により、会員校に速やかに報告し、承認を受けなければならない。
- 5 幹事会は、必要と認めるときは、幹事校以外の会員校または者を出席させて、説明または意見を聴くことができる。
- 6 幹事会の運営については、この規約に定めるもののほか、幹事会で別に定める。

(監査役)

- 第 9 条 本フォーラムに監査役 2 校を置く。
- 2 監査役は、会員校の中から選出し、総会で承認し、会計を監査する。
 - 3 監査役の任期は、2 年とする。

(ワーキング・グループ)

- 第 10 条 本フォーラムの業務を遂行するため、ワーキング・グループを組織することができる。
- 2 ワーキング・グループの組織、運営等については、幹事会で別に定める。

(事務局)

- 第 11 条 本フォーラムの事務局は、代表幹事校に置く。
- 2 代表幹事校および幹事校は協力して事務局の運営にあたる。

附 則

- 1 この規約は、2008 年 12 月 6 日から施行する。
 - 2 この規約の施行後最初の代表幹事校、幹事校および監査役の任期は、総会で別途定める。
- 附 則 (2010 年 10 月 8 日 第 4 条の 2、第 7 条の 2、第 9 条の 2 の一部改正)
- この規約は、2010 年 10 月 8 日から施行する。
- 新規

担当幹事校および任期の定めのある幹事校、事務局校
についてはいずれも再任を妨げない。

- 3 幹事会は、次の事項を審議する。
地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校および事務局校の推薦に関する事
本フォーラムの活動に係る企画立案に関する事
本フォーラムへの入会および退会に関する事
総会の議案に関する事
本フォーラムの運営に関する事
その他重要な事項であって、緊急に決定を要すること
- 4 幹事会が前項第 6 号の規定による決定をした場合には、総会その他の方法により、会員校に速やかに報告し、承認を受けなければならない。
- 5 幹事会は、必要と認めるときは、幹事校以外の会員校または者を出席させて、説明または意見を聴くことができる。
- 6 幹事会の運営については、この規約に定めるもののほか、幹事会で別に定める。

第 9 条 (現行どおり)

第 10 条 (現行どおり)

(削除)

附 則

- 1 この規約は、2008 年 12 月 6 日から施行する。
 - 2 この規約の施行後最初の代表幹事校、幹事校および監査役の任期は、総会で別途定める。
- 附 則 (2010 年 10 月 8 日 第 4 条の 2、第 7 条の 2、第 9 条の 2 の一部改正)
- この規約は、2010 年 10 月 8 日から施行する。
- 附 則 (2012 年 6 月 16 日 第 7 条、第 8 条の 2、3、第 11 条の改正)
- この規約は、2013 年 4 月 1 日から施行する。

以上

2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

幹事校の再任について

表記の件について、「全国私立大学FD連携フォーラム」規約（現行）第3章 第8条 2に基づき、下記のとおり幹事校を再任する。ただし、規約改正の経過措置として、今次提案においては任期を1年とする。

記

- ・ 幹事校：慶應義塾大学、中央大学、明治大学、同志社大学、関西学院大学
(50音順)
- ・ 任期：2012年4月1日～2013年3月31日（1年間）
2013年度以降の体制については、改定後規約に基づき2013年度総会で確認する。

以 上

【参考 - 規約 第3章 組織 より抜粋】

- ・ 現行規約
第8条 本フォーラムに幹事会を置き、代表幹事校および全幹事校で構成する。
2 代表幹事校および幹事校の任期は2年とする。ただし、いずれも再任を妨げない。
- ・ 改定後規約（予定）
第8条 本フォーラムに幹事会を置き、全幹事校で構成する。
2 代表幹事校、地域担当幹事校、任期の定めのある幹事校および事務局校の任期は2年とする。ただし、地域担当幹事校および任期の定めのある幹事校、事務局校についてはいずれも再任を妨げない。

2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム幹事会
2012年6月16日 全国私立大学FD連携フォーラム総会

新規入会校（2011年度総会以降）について（報告）

中部大学

- ・入会：2012年4月
- ・総会代表者：坪井 和男 大学教育研究センター長
- ・大学情報（ 中部大学ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/> より）
学生数：10,114名（2011年5月1日現在）

以上

2012年度に提供する実践的FDプログラム(ワークショップ)について

各回の詳細は JPFF ホームページでお知らせします。

*開催場所:KIC = 立命館大学 衣笠キャンパス(京都)

BKC = 立命館大学 びわこくさつキャンパス(滋賀県草津市)

開催日	開催場所(*)	講座名 テーマ	到達目標
2012年 7月14日(土)	KIC	「教育方法論演習」 良い授業のための留意点 - 話し言葉に着目して ~ 図形並べ	自分の指示すべき情報が、どの程度、口頭で的確に伝達されるかを体験する(知識) フィードバック(質問、聞き直し)がある場合とない場合で、どの程度口頭による指示の伝達が異なるかを体験する(知識) 教員が得意とする言語情報(verbal communication)の限界を体験する(知識、技能)
2012年 7月14日(土)	KIC	「教育方法論演習」 良い授業のための留意点 - 非言語・視覚情報の応用 ~ 無言面接	自分の表情、アイコンタクト、態度が他人に与える印象を知る(知識) 状況に応じて自分が相手に好印象を与える表情、態度、アイコンタクトを演じることができる(技能)
2012年 8月2日(木)	BKC	「心理学演習」 聴き手に求められる力	聴き手の姿勢や態度が話し手の話す意欲に影響することに気づく(技能) 話す意欲を高める/損なう要因を知る(技能)
2012年 8月2日(木)	BKC	「教育評価論演習」 ~ ティーチング・ポートフォリオの作成	実際のシラバス教材、評価アンケートの結果など、自分の教育活動の根拠となる資料を用いて、ティーチング・ポートフォリオを作成することができる(技能) 授業改善のためティーチング・ポートフォリオを積極的に活用する(態度)
2012年 9月20日(木)	KIC	「授業設計論演習」 シラバスと授業の到達目標の書き方	シラバスと授業の到達目標を観点別に行動目標で表現できる(技能)
2012年 9月20日(木)	KIC	「授業設計論演習」 強制連結法による授業設計	強制連結法を用いて授業を設計することができる(技能)
2012年 9月20日(木)	KIC	「授業設計論演習」 マイクロティーチングと評価	強制連結法を用いて設計した授業を実施、相互評価することができる(技能) 公開授業等において、授業評価を行う際に求められる観点を知り、適切な評価を行うことができる(技能、態度)
2012年 9月21日(金)	KIC	「教育評価論演習」 学習到達度評価 ~ ルーブリック評価の実際	授業の到達目標に合った試験、課題等が作成できる(技能) 学生に対し評価の観点や評価方法について適切に説明できる(技能) 評価結果を学生にフィードバックすることができる(技能)
2012年 11月10日(土)	BKC (予定)	「心理学演習」 受容的に聴く力 ~ イヌ・バラ法	犬、バラ法を用い、「あいづち」や「相手の言葉を繰り返す」技術を身に付ける(技能) 相手の話の背景にある意見や気持ちを思い浮かべることができる(技能)
2012年 11月10日(土)	BKC (予定)	「心理学演習」 アサーション・トレーニング	自分の指示や指導の仕方の特徴を知る(技能) 自分の気持ちも相手の気持ちも大切に指示、指導ができる(技能)
2012年 12月1日(土)	KIC	「教授学習理論演習」 アクティブ・ラーニングの方法と実践 ~ ピア・サポーターの活用を中心に	ピア・サポーターを活用したアクティブ・ラーニングの方法を修得し、実践することができる(技能) 各自が実践しているアクティブ・ラーニングの交流を通して、自らの授業を省察できる(態度)
2012年 12月1日(土)	KIC	「教授学習理論演習」 アクティブ・ラーニングの方法と実践 ~ ICTの活用を中心に	ICTを活用したアクティブ・ラーニングの方法を修得し、実践することができる(技能) 各自が実践しているアクティブ・ラーニングの交流を通して、自らの授業を省察できる(態度)